

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー
 ・9/16…上田、富森、川西、戸野
 ・9/17…上田、富森、中田、北島
 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		9	2		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	8	2		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		4	6	1	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・支援の開始に至るまでにご本人や家族との面談を細やかにを行い、十分に主訴を汲み取るように心がけ、必要時は他サービスへ繋ぐ事も行っている。利用開始前にはアセスメントシートを詳細に作成し、利用後は、個別の機能訓練や他利用者との交流の手伝いを行いながら、密な関わりを持っている。その理由として、『笑顔で心のこもった関わりを大切にする』という事業所理念が職員間に定着している点が挙げられる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・特に『送迎業務』に参加しない職員に関しては、自宅での生活や家族の状況が想像しづらい点がある。日々の生活記録など書面での情報が豊富であっても、実際は『定期的なミーティングが不足している』と感じている職員が多く存在した。その理由として、勤務体系が細かく分類化しており（可能な限り個々のニーズに合わせた訪問／送迎時刻としている為）、多数の職員が集まったのミーティングが実施しづらい点が挙げられる。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

◆新規利用者に関しては、『生活記録を詳細にとる』『日々の職員間の情報交換を密に行う』だけでなく、1 か月以内に、適宜参加可能な職員が集まってカンファレンスを実施していく。
 ◆家族が定期的に事業所に来る機会を設ける（例えば、半年ごとの介護計画書変更時に本人や家族に来所してもらい、現場職員が参加してのカンファレンスを行っていくなど）。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー
 ・9/16…上田、富森、川西、戸野
 ・9/17…上田、富森、中田、北島
 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		3	3	4	10 (未記入 1)
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		5	1	4	10 (未記入 1)
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	1	4	10 (未記入 1)
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		3	2	6	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・認知症の方もそうでない方も、同じ空間で心地よく過ごして頂けるよう職員個々が努力している。例えば、『音楽会』などを通じての和やかな雰囲気作りや利用者個々の意欲の向上 (楽器への取り組みなど) が得られている。また、帰宅願望が強い方に対して、安全面に留意しながら行動を制限しないよう取り組み、その上で日々ご家族とこまやかに情報交換を行うことで、関わり方を探るよう努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ケアプラン、介護計画は現場に提示されており、毎月のモニタリングも各担当職員が実施しているが、『ゴールとは何か?』と疑問に感じている職員が多く存在した。また、個々の利用者のカンファレンスに全職員が参加できていない為、特に非常勤職員においては、日々の支援が『どういった目標のもと実践されているか』理解が不十分である。定期的にケアを振り返る機会を作ることが更に必要と感じている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
◆支援を通じて職員個々が成長できるよう、転機となる場面 (初回面談時・契約時・入退院時など) に現場職員が積極的に参加していく。 ◆特に非常勤職員に対して、利用者個々の共通理解を図るためにも、日々短時間でも業務中にミーティングを実施していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

3. 日常生活の支援

メンバー
 ・9/16…上田、富森、川西、戸野
 ・9/17…上田、富森、中田、北島
 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	7	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	7	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		2	6	2	10 (未記入1)
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2	7	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1	7	3		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 日々の生活記録や連絡事項、その他健康チェック（毎月バイタルチェック表を作成し、家族・主治医へ提示）など、詳細な情報を残すことが出来ている。特に、事故防止への取り組みは強化出来ており、体調の変化に対しても早期の対応が行えている。 その結果、開設以来入院による登録廃止ケースが少なく、登録者全体で要介護状態の悪化を防ぐ取り組みが行えている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 特に、認知症の利用者や家族の思いを『言語化する』事が苦手な職員が多く存在している。その理由として、送迎に参加しない職員は家族の思いを汲み取ることが不十分である事や、多くの職員が集まってのミーティングの機会が少ない事などが挙げられる。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ◆『以前の暮らし方』を理解していく為にも、担当職員が中心となって、こだわりや生活習慣を文章化していく作業（再アセスメント）を計画作成担当者と共に定期的実施する。 ◆積極的にミーティングやカンファレンスを実施し、各職員が利用者の望みを『言語化していく』という専門性を身につける。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー
・9/16…上田、富森、川西、戸野
・9/17…上田、富森、中田、北島
・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5	3	2	10 (未記入 1)
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		3	6	1	10 (未記入 1)
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		2	6	2	10 (未記入 1)
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	3	5	9 (未記入 2)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

・特に介護者とのコミュニケーションを密にとり、自宅での介護と事業所での支援が結びつくよう心掛けている。宿泊サービスを多く必要とする方であっても、友人や家族に定期的に来所してもらうことで、今までの関係性が途切れないう調整している。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

・『地域資源』に対する理解が事業所全体で不十分である。特に、重度化が進んでいる利用者に対しては、地域資源への結び付けが難しく、『事業所のみが支援している』と感じる職員も多く存在した。
・登録者が増えるにつれ、住み慣れた地域を巻き込んだ『外出支援』が不十分になっているのが現状である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

◆地域資源に対する職員への研修を実施する(例えばエコマップを活用した研修など)。
◆各利用者の地域資源を知っていくためにも、各地域のふれあい喫茶などに参加する機会を作り、かかわりを深めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回) (14:00～15:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・9/16…上田、富森、川西、戸野 ・9/17…上田、富森、中田、北島 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、未沢 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	5	2	10 (未記入 1)
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	8	1		10 (未記入 1)
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?		6	3	1	10 (未記入 1)
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	6	1	1	9 (未記入 2)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成担当者が中心となって送迎業務を行っており、日々の健康状態や介護者の状況を察しながら、迅速に柔軟な支援を組み入れることが出来ている。 ・その他、連絡ノートを用いて家族との情報交換を行い、職員間では、細やかな生活記録を残して情報を共有できている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・特に認知症が進行した利用者などは、どのように地域資源を活用していくのか分からないという職員が存在した。 ・宿泊定員に限られている為(6名)、緊急時の受け入れのケースが重なった時に現場職員での判断が難しいという課題がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ◆計画作成担当者は、事業所の支援(通い、訪問、宿泊)や家族の支援だけでなく、積極的に『その他の支援』を組み入れた計画書を作成する。 ◆あらかじめ緊急時の受け入れ等をどのようにしていくか(オンコール体制など)、管理者や計画作成担当者以外の現場職員が判断できるような仕組みを作る。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

6. 連携・協働

メンバー
 ・9/16…上田、富森、川西、戸野
 ・9/17…上田、富森、中田、北島
 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？		2		2	4 (未記入 7)
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	1		2	4 (未記入 7)
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？		7	1	1	9 (未記入 2)
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？		6	1		7 (未記入 4)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・平成 27 年度より『みやおか音楽会』を開催し、積極的に地域交流を図るよう取り組んでいる。また、小規模多機能連絡会や地域ケア会議、地域行事などにも参加し、外部活動への参加を継続して実施している。 ・また、今年度より、『バイタルチェック表』を毎月作成し、主治医との連携を図るツールとして活用している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・外部への活動は管理者・計画作成担当者が中心となっている為、現場職員を巻き込んだ取り組みが不足している。 ・地域と共同開催して実施するような取り組み(夏祭りや防災訓練など)が行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
◆行事や外部への活動に関して、管理者や計画作成担当者主体ではなく、『現場職員主体』で実施していくような体制作りを行う。 ◆医療機関との連携をさらに進めていく為にも、定期的に受診時の付き添いなどを介護者と共同で実施し、日ごろからの関係作りを深めていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

7. 運営

メンバー
 ・9/16…上田、富森、川西、戸野
 ・9/17…上田、富森、中田、北島
 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		2	2	5	9 (未記入 2)
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	2	3	10 (未記入 1)
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1		4	6 (未記入 5)
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		2	1	5	8 (未記入 3)

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・法人全体で『IAC レポート』を共有化し、毎月施設内でリスクマネジメント会議を実施しながら、利用者の意見や苦情を運営に反映できる仕組みづくりを進めている。
 ・毎月の現場会議は数回実施し、全職員が意見を述べる事が出来るよう体制を整えている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・毎月の現場会議など、職員が意見を述べる機会は作っているものの『運営に参加している』と実感できていない職員が多く存在していた。また、地域と共同した取組み(災害時対策など)も不十分と感じている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ◆次年度の事業計画においては現場職員も作成時に参加し、『研修』『行事』に関して実現可能な範囲で、計画～実行までを担う取り組みを進める。
 ◆介護者や家族と共同して実施できるような取組み(懇談会など)を進めていく。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回) (14:00～15:00)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	<ul style="list-style-type: none"> ・9/16…上田、富森、川西、戸野 ・9/17…上田、富森、中田、北島 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか		7	2	1	10 (未記入 1)
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		1	2	5	8 (未記入 3)
③	地域連絡会に参加していますか		1	1	4	6 (未記入 5)
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	9			10 (未記入 1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内での研修は管理者・計画作成担当者が中心となって適宜実施できている。また、委員会活動や会議を通じて、リスクマネジメントに関する意識は高く保っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得やスキルアップのための研修(特に外部研修)について積極的な参加が進んでいない。また、ケアマネージャーの資格取得者が増えない状況である。 ・職員が固定化されていることから、新人職員へ指導/教育する場面が少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ◆個々の職員が自らのスキルアップの為に、意欲を持って外部研修に参加できる様な体制づくり(人員配置の見直し)を進める。 ◆後輩や新人職員を指導する機会を持つ事で自身の仕事を見直す機会を作る為にも、法人間で定期的な人事交流を進める。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日～24 日(全 4 回)
(14:00～15:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー
 ・9/16…上田、富森、川西、戸野
 ・9/17…上田、富森、中田、北島
 ・9/18…上田、富森、藤本、山村、末沢
 ・9/24…上田、富森、西山、櫻井、戸上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	4	5	2		11
②	虐待は行われていない	9	1	1		11
③	プライバシーが守られている	3	5	3		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3	1	2	6 (未記入 5)
⑤	適正な個人情報の管理ができています	4	6			10 (未記入 1)

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止や認知症ケア研修を通じ、『言葉での抑制』も含め、そういったことを許さない事業所を確立するよう取り組んでいる。 ・ケースファイルの保管や記録の管理、その他利用者との会話の中でも適切な個人情報の保護を心がけている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・併設施設との兼ね合い上、エレベーターが暗証番号化されている。また、入り口がカーテンとなっているトイレに関しては『事故防止』に繋がっているものの『プライバシーに欠けるのではないかと感じる職員も多い。その他、職員の声のかけ方に違和感を感じる場面に遭遇した際、相互に注意し合うことが欠けている。 ・その他、必要と思われる方に成年後見制度の説明は行っているものの、実際に導入に至るケースが少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ◆不適切と思われる声掛けがあった際は、その都度、管理者を通じて現場職員間で話し合う機会を作る。 ◆『リスク管理とプライバシー保護』のどちらも大切である事を職員個々が理解し、課題のあるケースにおいては、毎月の現場会議で解決策を話し合っていく。 	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 神戸福生会	代表者	大和田理沙
事業所名	サテライト宮丘 小規模多機能サービス	管理者	上田順三

法人・事業所の 特徴	高取山の麓にある桜並木の幹線通り沿いに位置し、事業所屋上からは長田の町並みから海までを見渡す事ができます。元々高齢化率が高く、坂道の多い地域であった事もあり、『地域のご高齢者を支えていく拠点』を目指し、平成 20 年に併設の地域密着型特養と共に事業を開始しました。現在では民生委員の方々との連携も深まり、季節行事への参加や町内のボランティアの方の受け入れ等、地域交流も盛んになってきています。職員は『笑顔で心のこもった関わりを大切にする』という理念のもと、来所時には個別の機能訓練や趣味・特技を活かした支援を提供しています。その他、ご家族との情報交換を密に行い、利用時間の延長や急な宿泊、訪問等も柔軟に対応しています。
---------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	1人	1人	1人	人	4人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認			・全体的に自己評価は低いと感じるが、各職員とも率直な意見が多く、取り組む姿勢に問題は無いと感じた。今後は地域資源を活用した訪問活動を積極的に活用していく事に期待する。	・地域包括ケアを意識した支援については各職員共に評価が低い為、今後積極的に取り組みたい。また、非常勤職員の意見も組み入れられるよう、自己評価の仕組みを整えていきたい。
B. 事業所の しつらえ・環境			・しつらえや環境に対し、特に指摘する部分は無い。『施設』に関しては、本人を守る為にも家族側は望んでいるのではないだろうかを感じる。	・身体拘束はしないという方針に変わりはない。ただし、立地や構造上の問題から、エレベーターの暗証番号化を導入している。ただ、人員体制が整っている時間帯には開放したり、精神的なケアを大切にするなど、施設全体で改善を図っていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり			・毎月『宮丘だより』を町内に掲示するなど、年々地域に根付いてきていると感じる。ただ、近隣に住んでいても全く事業所の事を知らない人もいる為、継続して発信してもらいたい。	・町内の掃除などには参加しているものの、管理者以外の職員が地域住民と接する機会が少ないため、今後、現場職員が、一つでも多くの地域行事に参加できるよう計画していきたい。
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを ささえる取組み			・個々の利用者の支援に関して、地域包括支援センターを交えた相談を今後増やしてはどうか(現在は困難事例が無い為)。	・地域に出向く支援(スーパーやかかりつけ医への付き添い)は適切に行っているが、設問の内容に関しては不十分であると評価できるため、地域包括ケアにおける事業所の役割に関して現場スタッフと共に学び、一つでも多くの地域交流行事に参加していきたい。
E. 運営推進会議を 活かした取組み			・会議内容や議事録は分かりやすいと感じる。一方で、地域の課題を事業所と共に取り組んでいく、という議論が少なかった。	・民生委員からの相談で利用に繋がったケースもあるが、地域全体の課題に対して、事業所側からのアプローチが足りないと感じる。次年度は意識的に、会議の場で議論していきたい。
F. 事業所の 防災・災害対策			・地域で防火訓練や救命訓練などが行われていない為、事業所側が主催で催しを企画してほしい。	・過去の会議での要望から AED を設置した経緯がある。今後は地域の防災活動の一つでも多く参加するとともに、住民からの要望に応じて、合同で催しを計画していきたい。